

第 37 回 中国四国 IVR 研究会世話人会

日時：令和 6 年 9 月 29 日（日曜日）9:30-10:30

場所：岡山国際交流センター

- 当番世話人の挨拶 高知大学 山上卓士教授
- 前回議事録の確認

参加者数 32 人、委任状 24 人、欠席者 4 人で世話人会は成立した

出席者氏名：

新井、栗井、井石、石川、石丸、伊原（伊東の代理）、遠藤（山本（修）の代理）、岡田、梶原、城戸、郷原、佐藤、佐野村、田中、外山、中村（一）、中村（恩）、則兼、橋本、原田、平木、福永、松井、松本、向井、矢田、安井、山上、山西、山本（亮）、湯浅、吉松（五十音順 敬称略）

議事

1. 次回（第 38 回）当番施設の確認
→ 徳島大学 10 月 31 日、11 月 1 日 岡山国際交流センター
徳島大学 原田先生のご挨拶
2. 次々回（第 39 回）当番世話人施設の確認
→ 愛媛大学
3. 次々々回（第 40 回、第 41 回）当番世話人施設の決定
→ 第 40 回 鳥取大、第 41 回 山口大
4. 新世話人の了承・推薦、世話人辞退
 - 世話人辞退
松江赤十字病院 森岡伸夫先生（一身上の都合により）
鳥取赤十字病院 小林 正美先生（定年退職のため）
 - 新世話人推薦
川崎医科大学 福永健志先生（川崎医科大学 玉田先生より推薦）
山口大学 伊原研一郎先生（山口県立総合医療センター 岡田先生より推薦）
愛媛大学 福山直紀先生（愛媛大学 城戸先生より推薦）
5. 会員名簿
 - メーリングリストの活用を。年会費のご案内の際にメーリングリスト掲載の可否をお伺いしている（高知大学 山上先生）

報告・確認事項

1. 会計報告：広島大学 栗井教授より監査報告

2. その他

(1) 鳥取県立中央病院 放射線科 中村一彦先生議題

ガイディングカテーテルについて

IVR 学会健保委員会委員長 赤羽先生から、従来から適応外。ただし、必ずしも査定されているわけではない。

→中国四国 IVR 研究会からの要望として IVR 学会健保委員会に諮る。

(2) 鳥取大学 矢田先生

演者、座長にプログラム、抄録の PW が分からない先生がいた。

→メーリングリストでは周知していた。メーリングリストの強化を図る。

(3) 広島大学 栗井先生

広島大では緊急手術等手当、時間外加算等が時間外や休日の緊急 IVR にはつかない（主科ではないので加算がつかない状況）。外科では、緊急手術の手当や加算があるらしい。

→中四国の施設でヒアリングを行う。

(4) 高松赤十字病院 外山先生

専門医制度委員会から新しい専門医制度について。新制度を修正中。

変更点（4つ）

① 名称の変更：放射線カテーテル治療専門医（←現在：IVR 専門医）

② 症例経験について：手技を ABC に分けて、術者としての症例経験数が必要になる（←現在：200 症例の症例経験）。

③ IVR 学会への入会期間：IVR 学会への入会年数の規程が撤廃される（←現在：5 年間の入会期間必要）。ただし、IVR Web 登録からの申請になるため実質は、最低 3 年間の入会は必要になる（専門研修は 3 年。1 年は放射線診断専門医との連動 OK。残り 2 年の研修期間が必要になる予定）。

④ 研修施設群を作る必要あり：修練施設でない施設でも IVR 学会の指導医講習を受けている専門医がいれば、症例数としてカウントできる。尚、指導医講習は来年の IVR 学会総会までない。

※10/5 メールにて外山芳弘先生（高松赤十字病院）より追加報告あり

新 IVR 研修医制度ですが、週末に専門医制度委員会に出席し、研修期間が当初の予定どおり、「2 年間は放射線診断専門医の研修期間内での補完研修とその後

の1年の独自研修での指針策定を行っている」ことを確認しました。指針自体がまだ未承認ですが、先日の私の発言に追加事項として、議事録に入れていただければと思います。

以上

(2024年10月01日 書記：松本 文責：山上)